

平成23年10月 吉日

長崎県ラグビーフットボール協会 様

島原市ラグビーフットボール協会

代表 森田 洋輔

第6回島原タグラグビーフェスタの結果報告と後援の御礼

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、10月23日（日）島原市平成町の島原復興アリーナにおきまして、第6回島原タグラグビーフェスタが、無事に大会を終えたことを報告します。

今年は過去最多の49チーム 約350人の参加。レベル・参加構成で1ブロック5チームの9ブロックと4チームの幼稚園ブロックに分かれ、9ブロックは総当りで優勝チームを決め、幼稚園ブロックは総当たりで交流試合（順位なし）を行いました。雲仙市は愛野小学校、南島原市は有家・西有家町の各小学校・中学校など、島原市は各小学校・中学校及び高校ラグビー部、島原半島の幼稚園・保育園、各職場・小学校教員・幼稚園保護者など今年も多種多様のチームが集まりました。また、諫早・佐世保の小学校・遠方は去年度全国大会出場福岡柴刈ジュニアラグビー・熊本東町チームの参加もありました。

島原市立第一小学校2年生の安藤将剛君のはつらつとしたすばらしい宣誓で大会が開会し、参加者全員が、笑顔でプレーを楽しんでいました。また、小学校高学年の多くの参加が、大変盛り上がり、この大会初めて、女子が最優秀選手を獲得しました。小学校高学年は、全国大会に繋がるサントリーカップの県予選が始まる時期になりましたので、この大会をきっかけに、サントリーカップの県予選にも参加してほしいと主催者側は希望しています。

島原市内の小学校では、最近、親子レクリエーションでタグラグビーが行われたり、タグラグビーの用品のレンタル依頼があったりとタグラグビーがだんだん普及してきました。

さらに、この大会が、地域の人々の健康や親子・職場の絆が高まるきっかけになったり、新たな自分の居場所を見つけるのに役に立ったり、タグラグビーが発展・普及することを願っています。

2016年からの7人制ラグビーフットボールがオリンピック競技の正式種目になりました。今年、地元の中学生在が九州ブロックのオリンピック強化選手になったことをステップにして、島原半島からもラグビーをもっともっと盛り上げていきたいと思えます。

最後になりましたが、皆様の後援により、素晴らしい大会が開催できたことに御礼を申し上げます。

なお、大会の結果・最優秀選手は、下記の通りです。

Aブロック 優勝 雲仙市がまだスポーツクラブAチーム
Aブロック 優秀選手 : 松本 彰仁 (島一小)

Bブロック 優勝 NPOしまばらTOPチーム
Bブロック 優秀選手 : 末吉 史八 (池田病院)

Cブロック 優勝 柴刈BLACKファルコンチーム
Cブロック 優秀選手 : 隠塚 翔太郎 (福岡柴刈)

Dブロック 優勝 なでしこ池田
Dブロック 優秀選手 : 濱本 美和子 (池田病院)

Eブロック 優勝 東町おじょうさんずチーム (熊本東町小)
Eブロック 優秀選手 : **最優秀選手**

Fブロック 優勝 ありえ寺子屋Aチーム
Fブロック 優秀選手 : 中村 源太郎 (見岳小)

Gブロック 優勝 柴刈BLACKシャークチーム
Gブロック 優秀選手 : 高石 大河 (有家小)

Hブロック 優勝 柴刈BLUEセイバーチーム
Hブロック 優秀選手 : 伊藤 唯斗 (福岡柴刈)

Iブロック 優勝 ストロング7チーム
Iブロック 優秀選手 : 渡部 啓太 (島二中)

Jブロックは、幼児のため 順位はつけませんでした。

最優秀選手 相良 純 (島一小)